

平成25年度進行管理・評価シート（最終版）
萩市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）
（最終変更平成24年10月4日）

☑進捗評価シート(様式1)

| | | |
|----------------------------------|-------|-------|
| ①組織体制(様式1-1) | | |
| 1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働 | | 1 |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) | | |
| 1 景観計画区域の変更 | | 2 |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) | | |
| 1 歴史的まちなみ看板整備事業 | | 3 |
| 2 萩時代まつり | | 4 |
| 3 萩夏まつり | | 5 |
| 4 萩の和船大競漕「おしくらごう」 | | 6 |
| 5 浜崎伝建おたから博物館 | | 7 |
| 6 ワンコイントラスト(百円信託)運動 | | 8 |
| 7 萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定 | | 9 |
| 8 萩・万灯会 | | 10 |
| 9 萩・大茶会 | | 11 |
| 10 萩ものがたり出版事業 | | 12 |
| 11 萩焼まつり | | 13 |
| 12 萩・幕末維新検定 | | 14 |
| 13 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 | | 15 |
| 14 語り部育成事業 | | 16 |
| 15 地域コミュニティ組織づくり事業 | | 17 |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) | | |
| 1 文化財の保存・修理等に関する事項 | | 18～19 |
| 2 文化財の普及・啓発等に関する事項 | | 20 |
| 3 文化財施設等の活用に関する事項 | | 21～23 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | | |
| 1 恵美須ヶ鼻造船所跡国指定史跡へ等 | | 24～49 |
| ⑥その他(様式1-6) | | |
| 1 中国地方歴史まちづくりサミット | | 50 |
| 2 第11回全国城跡等石垣整備調査研究大会 | | 51 |
| 3 第5回「プロジェクト未来遺産」 | | 52 |

☑総括評価シート【方針等の達成状況等】(様式2)

| | | |
|----------------------|-------|-------|
| ① 計画に記載している方針(様式2-1) | | 53～58 |
|----------------------|-------|-------|

☑総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

| | | |
|----------------------------|-------|-------|
| ① 歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1) | | 59～62 |
|----------------------------|-------|-------|

☑法定協議会等におけるコメントシート(様式4)

| | |
|-------|----|
| | 63 |
|-------|----|

評価軸①-1
組織体制

| | | |
|-------------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容 計画に定める事業等の実施については、萩市歴史まちづくり部が、計画の変更については、萩市総合政策部が中心となって行い、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しつちよる会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

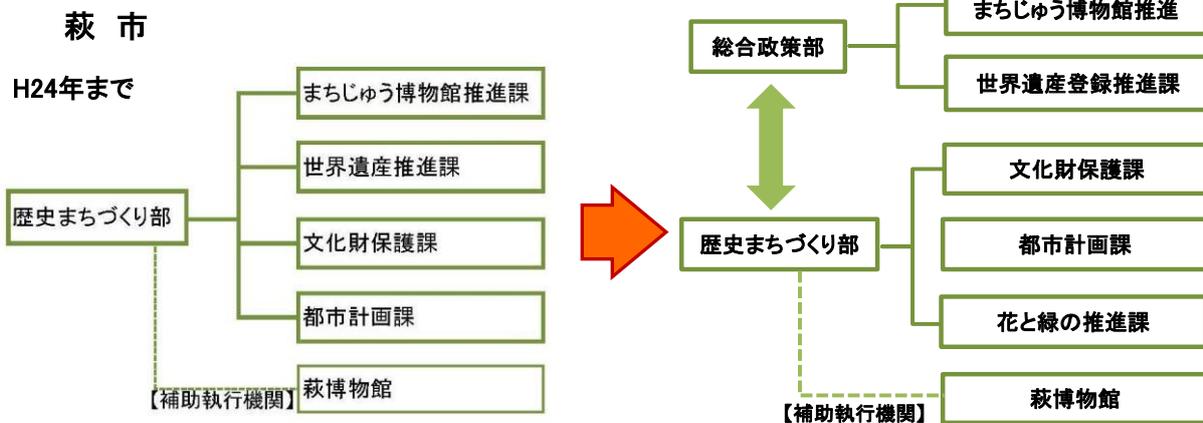
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 計画の実施については、平成21年度からは歴史まちづくり部が中心となって行っていたが、平成25年度からは、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを市の中核的な施策として総合的に推進するため、歴史まちづくり部のまちじゅう博物館推進課と世界遺産推進課を総合政策部に移管し、2部による推進体制とした。民間団体の取り組みについては、萩市のまちづくりの基軸である「萩まちじゅう博物館」を推進する市民団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPO萩まちじゅう博物館」を中心に、浜崎重要伝統的建造物群保存地区の保存活用を行っている「浜崎しつちよる会」や市内文化財施設の管理やガイド等を行っている「NPO萩観光ガイド協会」が、魅力あるまちづくりに取り組んでいる。その他、地域が持つ歴史的特性をまちづくりに活かそうとする市民団体が設立されており、これらの団体等との協働により計画を推進している。
 NPO萩まちじゅう博物館会員数(平成25年11月末現在)207人
 NPO萩観光ガイド協会会員数(平成25年11月末現在)92人

| | |
|--|--|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 計画変更及び事業全体の取りまとめについては、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、計画の更なる推進を図るため担当者会議を開催するなど体制の強化を検討する。また、萩市歴史的風致維持向上支援法人の「NPO萩まちじゅう博物館」や各市民団体と公開施設の活用等について協働体制の推進に向けた検討を行う。 |

状況を示す写真や資料等

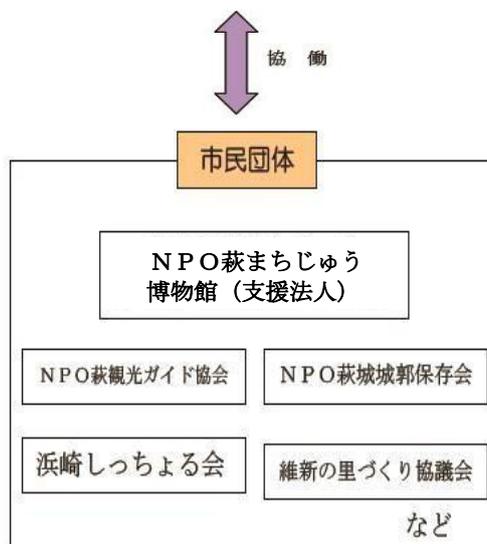
歴史まちづくり推進体制の確立

歴史まちづくり専門組織の強化



萩市歴史的風致維持向上計画協議会

- 開催日 平成26年3月14日
- 議題
 - ・歴史的風致維持向上計画の変更について
 - ・計画の進行管理・評価について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

| | | | |
|---------------------|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部は未指定地域であることから、指定している地区や地域とは極端な景観の差が現れることになる。これを解消するために新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

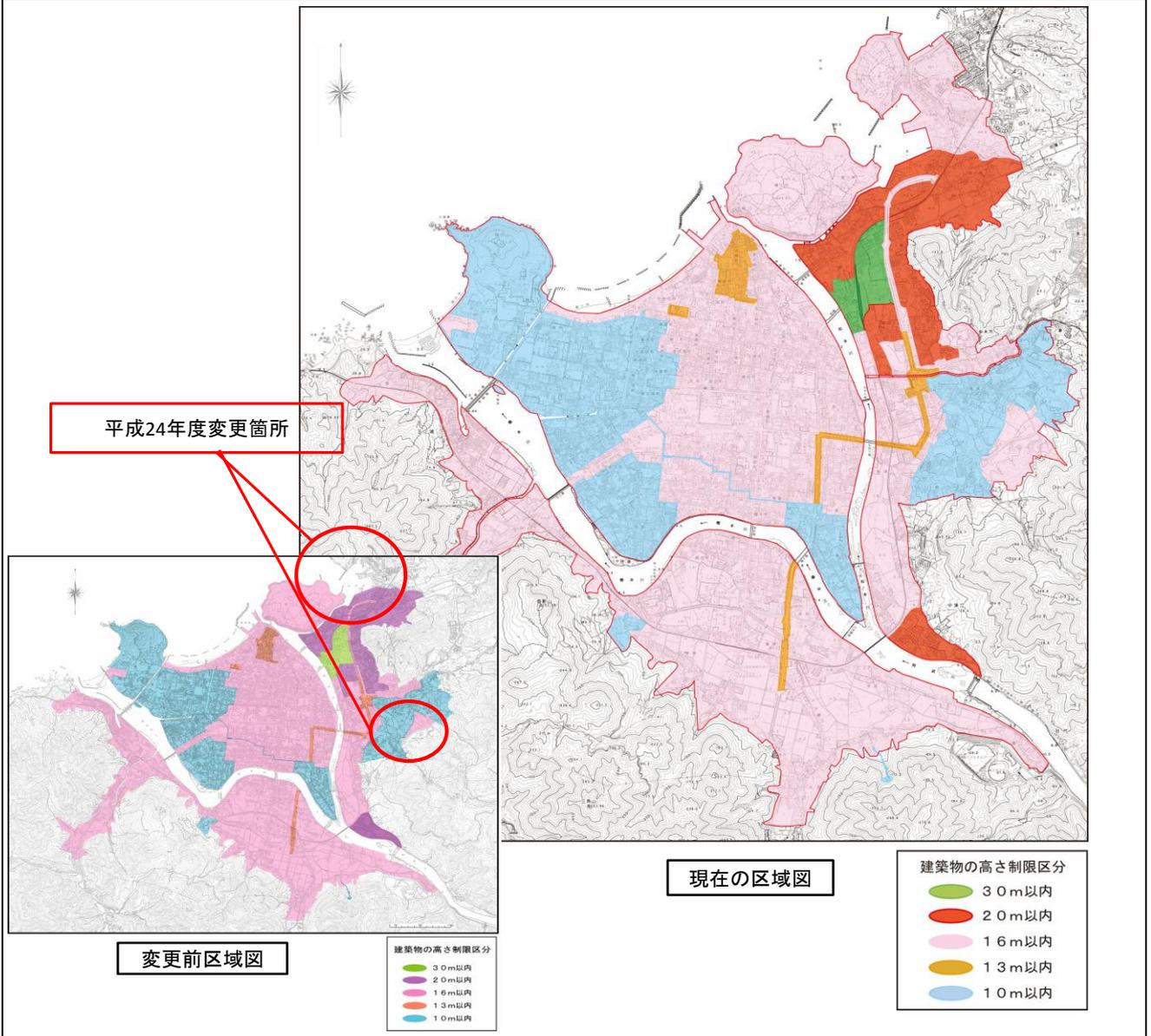
重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に策定された萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを主に16m以内又は10m以内に制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得て行っており、平成24年4月からは下記のとおり景観計画区域の変更を行い、更なる歴史的風致の維持及び向上に努めている。
 ○平成25年度 萩市景観区域内行為届受理件数 54件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
|---------------|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史的まちなみ看板整備事業 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成24年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 当事業では、渡辺蒿蔵旧宅を核として、旧田中別邸や旧湯川家屋敷等の文化財施設への案内看板、誘導看板等の整備と、中央公園駐車場から唐樋札場跡、森井家住宅等の文化財施設への案内看板、誘導看板を整備する。当事業により、市民及び観光客の周遊性が向上し、歴史的風致維持及び向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

渡辺蒿蔵旧宅は、橋本川沿いの風光明媚な場所に位置している。渡辺蒿蔵旧宅を核として、文化財施設への案内看板、誘導看板等の整備を行った。

○平成24年度整備内容(平成25年3月末現在)

看板サイズ:1. w1200*h1700=1基 2. w300*h1200=2基 3. w1500*h2600=1基 4. w1700*h700=1基
5. w1200*h900=1基 6. w500*h1200=1基 計7基設置

看板のサイズは、設置場所の状況に合わせ設計。

○平成25年度整備内容(平成26年3月末現在)

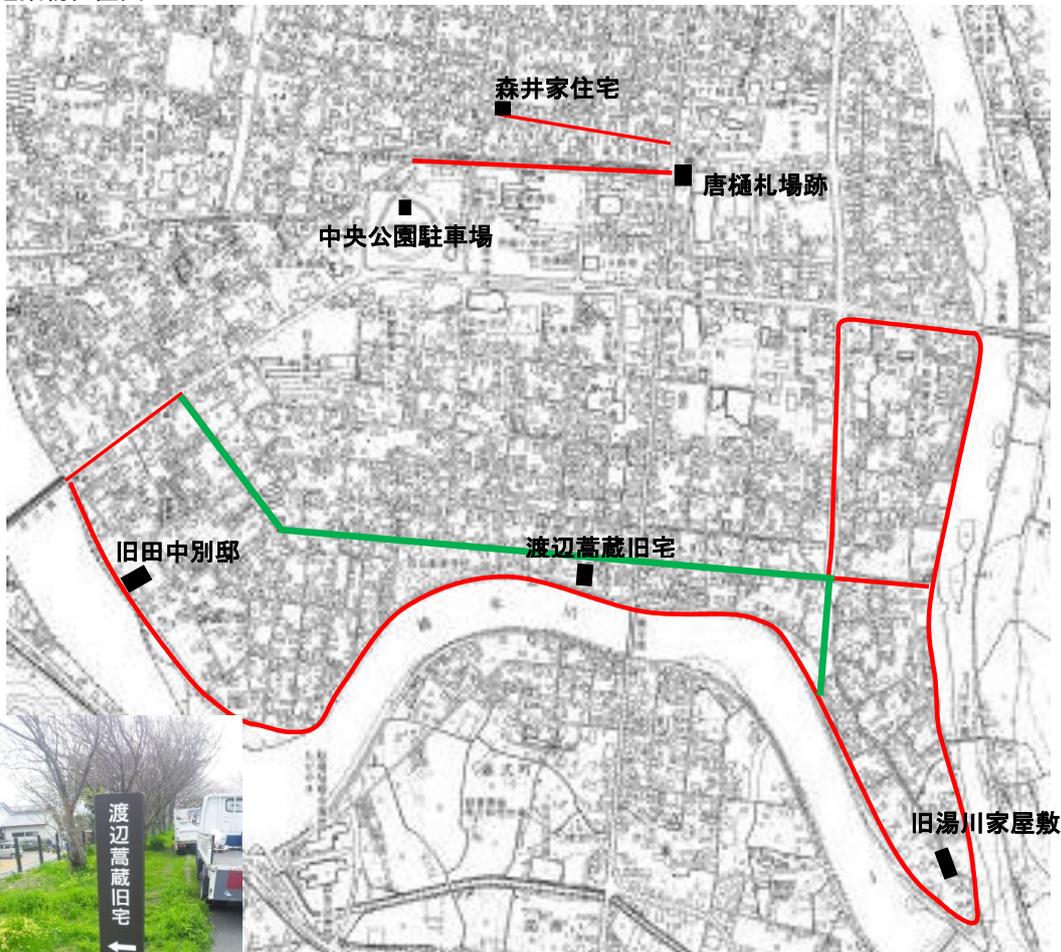
看板サイズ:w1805*h2000=6基 計6基設置

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

建築物位置図



案内看板w300*h1,200mm
平成25年3月26日設置

— 24年度整備箇所
 — 25年度整備箇所

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
|-------|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 秋夏まつり | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和38年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日 平成25年8月1日(木)～3日(土)

開催場所 萩市内各所

入込数 107,000人

◆秋夏まつり主なスケジュール

○8月1日(木)20時～21時「日本海大花火大会」

○8月2日(金)・3日(土)18時～21時「秋夏まつり」

お船謡は8月3日、住吉神輿は8月2日・3日に終日かけて行われている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|--|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 萩の和船大競漕「おしくらごう」 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成16年度～ | | |
| 支援事業名 | 萩市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区巖島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 開催日時 | 平成25年6月2日(日)12時30分～ | | |
| 開催場所 | 萩市橋本川下流 | | |
| 入込数 | 14,000人 | | |
| 「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていましたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの皆さんに見ていただけるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげて白熱したレースを繰り広げた。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



【イベントチラシ】

萩の おしくらごう 和船大競漕

2013 6月2日 9:30~13:30 萩市玉江浦 (橋本川下流域河川敷)

スケジュール
 9:30- 開会式
 10:00- 中学生の部和船競漕
 11:00- 一般の部和船競漕
 12:00- 中学生・一般の部決勝
 12:30- 玉江浦「おしくらごう」
 13:00- 閉会式

同時開催 玉江浦ふるさとまつり
 9:00 船山車道中、女性部のシャギリ
 12:30 おしくらごう(常設橋は玉江橋)
 13:30 アトラクション トカラオケ・舞踊
 福引抽選会(午後2時~4時30分まで)
 15:50 子供大会 トゲーム
 16:30 もちまき
 竹細工・竹トンボ製作実演販売
 ●問い合わせ/山口県漁業同組合玉江浦支部 ☎0838・25・1493

主催 萩市の和船大競漕実行委員会
 共催 萩市、山口県漁業同組合はぎ支部
 問い合わせ 萩市水産課 ☎0838・25・4195

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------------|--------|---|
| | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 |
| 浜崎伝建おたから博物館 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成10年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成25年5月19日(日)9時～16時
 開催場所 萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区
 入込数 3,500人

浜崎地区のまちづくり団体「浜崎しちよる会」が中心となって行っている。浜崎のまちなみ、浜崎の「おたから」とともに、萩の特産品販売や食も楽しめるよう工夫をし、来場者をもてなしている。今年は、雨天の影響で来場者は減少した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

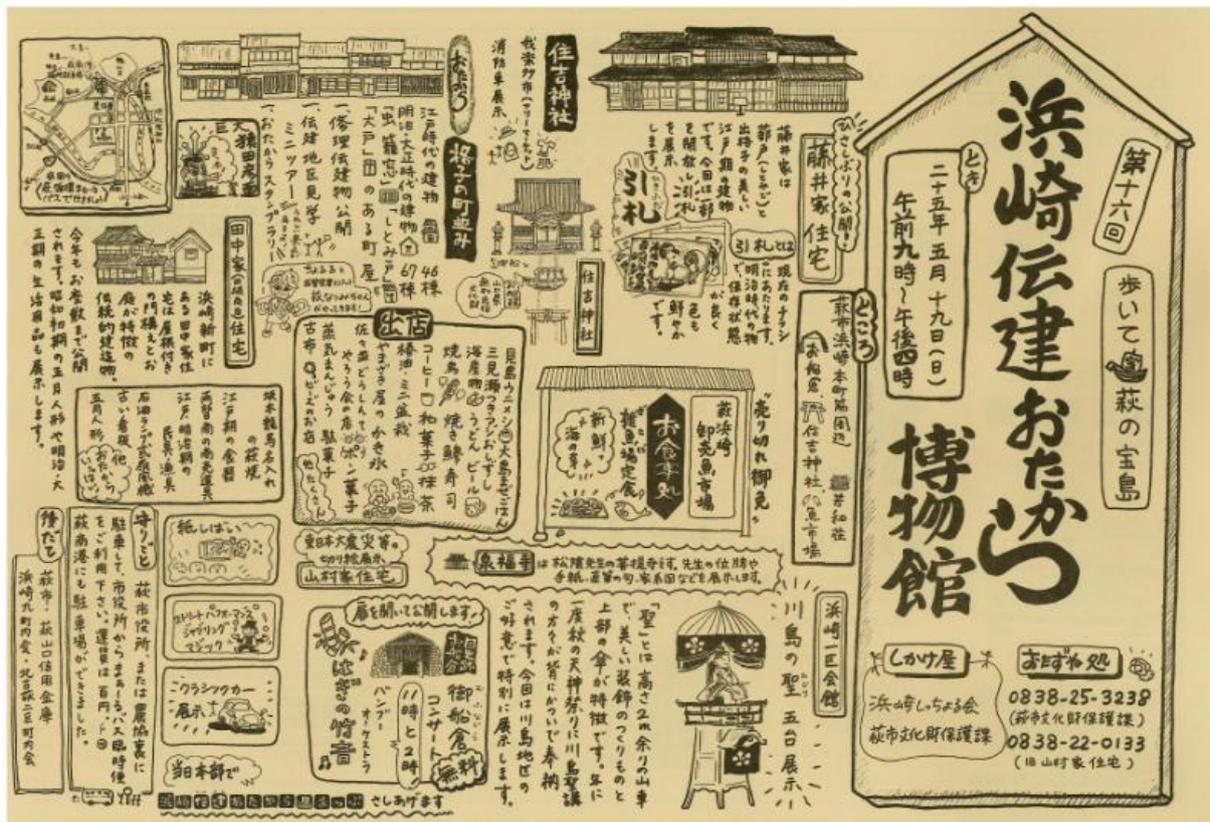
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



【イベントチラシ】



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| ワンコイントラスト(百円信託)運動 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

トラストボックス設置箇所 5箇所
 ①道の駅「萩しーまーと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅

トラスト金額 累計 28,065,613 円 (平成25年12月5日現在)

平成24年度からは公開を開始した渡辺蒿蔵旧宅にトラストボックスを設置し、設置箇所は5箇所になった。また、本年は12月15日発行の市報により、ワンコイントラスト物件の公募を行った。応募物件についての審査を行う委員会を開催した。平成24年度には、第8号物件として奇兵隊の隊服の復元を支援し、平成25年6月に萩博物館にて披露した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

いのうえまさる
第1号 井上勝旧宅門

修復後



名 称：井上勝(鉄道の父)旧宅門
 物件の公開：萩市土庫 258-1
 修復年月：平成18年4月

さるたひこめんだし
第2号 猿田彦面山車

修復後



名 称：猿田彦面山車
 物件の公開：住吉神社のお祭り
 で一般公開
 修復年月：平成18年10月

ひやこぞなえくみ
第3号 平安古備組道具類

修復後



名 称：平安古備組道具類
 ※十文字陣や鎌倉御旗など10点
 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で
 一般公開
 修復年月：平成19年7月

おあじろぐるま
第4号 御網代車

修復後



名 称：御網代車
 物件の公開：毎年11月に行われる金谷天満宮秋しの御網代
 神事にて一般公開
 修復年月：平成20年10月

ちようしゅうほう
第5号 長州砲

修復後



名 称：長州砲(鉄野砲一貫目野砲)
 物件の公開：萩博物館で常設展示公開
 里 唄：平成20年8月から平成21年5月末日まで

いとうひろぶみ
第6号 伊藤博文公先祖の墓碑

修復後



名 称：伊藤博文公先祖の墓碑
 物件の公開：萩忠寺境内にて常時公開
 修復年月：平成21年9月

たかすぎしん さくりっし ぞう
第7号 高杉晋作立志像

銅像建立



名 称：高杉晋作立志像
 物件の公開：肥後萩城跡下町
 にて常時公開
 建立年月：平成22年10月

きへいたいたいふく
第8号 奇兵隊隊服

奇兵隊隊服を再現



名 称：奇兵隊隊服
 物件の公開：萩時代まつりや
 萩博物館で一般公開
 完成披露：平成25年6月

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-----------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩ものしり博士検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成25年11月24日(日) 10時30分～
 ・萩ものしり博士(修士課程)45分間/テキストより100問出題 全問択一式 80問以上正解で合格
 ・萩ものしり博士(博士課程)90分間/テキストより100問出題 記述式・択一式 80問以上正解で合格
 開催場所 萩セミナーハウス

平成21年度にテキストを改訂し、民俗、自然の情報を増やした。
 平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」について、24年度から市内の小学生は、各学校で受験できるように形を変更し、平成25年度は計475名が受験した。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

■萩ものしり博士検定 受験者・合格者数

| 修士課程 | | | | |
|------|------|------|------|-------|
| 年度 | 申込者数 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
| H17 | 250人 | 234人 | 213人 | 91.0% |
| H18 | 115人 | 105人 | 94人 | 89.5% |
| H19 | 88人 | 74人 | 71人 | 95.9% |
| H20 | 81人 | 70人 | 56人 | 80.0% |
| H21 | 81人 | 76人 | 72人 | 94.7% |
| H22 | 70人 | 66人 | 61人 | 92.4% |
| H23 | 94人 | 89人 | 85人 | 95.5% |
| H24 | 97人 | 89人 | 83人 | 93.3% |
| H25 | 46人 | 44人 | 42人 | 95.5% |
| 合計 | 922人 | 847人 | 777人 | 91.7% |

| 博士課程 | | | | |
|------|------|------|------|-------|
| 年度 | 申込者数 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
| H18 | 136人 | 129人 | 23人 | 17.8% |
| H19 | 89人 | 81人 | 32人 | 39.5% |
| H20 | 59人 | 53人 | 20人 | 37.7% |
| H21 | 57人 | 52人 | 11人 | 21.2% |
| H22 | 39人 | 36人 | 11人 | 30.6% |
| H23 | 37人 | 34人 | 8人 | 23.5% |
| H24 | 41人 | 39人 | 10人 | 25.6% |
| H25 | 38人 | 33人 | 10人 | 30.3% |
| 合計 | 496人 | 457人 | 125人 | 27.4% |

※合格者の合計は115人ですが、2度合格されている方が2名、3度合格されている方が1名いるため、博士人数は111人です。

| 子どもものしり博士 (市内各小学校で受験) | |
|-----------------------|--------|
| ～H23 | 124人 |
| H24 | 791人 |
| H25 | 475人 |
| 合格者 | 1,390人 |

検定日当日の様子



検定テキスト改定版「萩ものしり博士」



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 萩・万灯会 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 昭和42年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆大照院<迎え火>
開催日時 平成25年8月13日(火) 19時30分～22時(20時～墓前供養)
 - ◆東照寺<送り火>
開催日時 平成25年8月15日(木) 19時30分～22時
- 合計入込数 6,000人

毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 萩ものがたり出版事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成16年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年4月1日発行
 ・萩ものがたり37号「奇兵隊士列伝(一)」(萩市特別学芸員 一坂太郎 著)
 ・萩ものがたり38号「奇兵隊士列伝(二)」(萩市特別学芸員 一坂太郎 著)

平成25年10月1日発行
 ・萩ものがたり39号「松下村塾」(教育学博士 海原徹 著)
 ・萩ものがたり40号「松林桂月」(山口大学教育学部教授 菊屋吉生 著) 平成16年度からの累計発行数 40巻

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

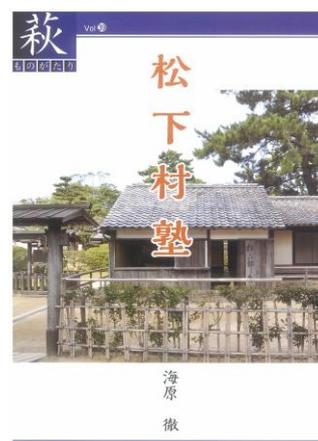
状況を示す写真や資料等

平成25年4月1日発行



- ・萩ものがたり37号「奇兵隊士列伝(一)」
(萩市特別学芸員 一坂太郎 著)
- ・萩ものがたり38号「奇兵隊士列伝(二)」
(萩市特別学芸員 一坂太郎 著)

平成25年10月1日発行



- ・萩ものがたり39号「松下村塾」
(教育学博士 海原徹 著)
- ・萩ものがたり40号「松林桂月」
(山口大学教育学部教授 菊屋吉生 著)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|--|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 萩焼まつり | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成3年度～ | | |
| 支援事業名 | 萩市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 開催日時 | 平成25年5月1日(水)～5日(祝・日) 9時～17時30分 | | |
| 開催場所 | 萩市民体育館 | | |
| 入込数 | 38,400人 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・萩焼窯元等出店事業者 47社 ・ろくろ体験 ・萩焼を使ったテーブルコーディネート展 ・萩焼オークション ・抹茶席 ・特産品の販売 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等

「萩焼まつり」会場内の様子



「萩焼まつり」会場内の様子



萩焼を使ったテーブルコーディネート展の様子



特産品販売の様子



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|--|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 萩・幕末維新検定 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成25年度～ | | |
| 支援事業名 | 萩市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 萩・幕末維新検定は、平成30年の明治維新150年に向けた事業展開の一つとして、幕末・明治維新に特化し、萩ゆかりの人物や歴史などをクイズ形式により学びながら、近代日本の礎を築いた人物の関連遺産が数多く残る萩の魅力を再発見するとともに、明治維新胎動の地、萩の歴史的風致を広く情報発信することを目的に実施する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 開催日時 | 平成26年2月23日(日) 10時30分から | | |
| 開催場所 | JAあぶらんど萩本所(旧萩藩校明倫館横)、萩市民館、萩市総合福祉センター | | |
| 内容 | ・検定時間90分間/公式テキストから100問出題/択一式及び記述式 80問以上の正解で合格 ・受検者特典/松下村塾コース/萩博物館コース 平成25年11月に公式問題集を発行。平成30年の明治維新150年に向けて毎年開催する予定。第1回目の受検者は353人。市外からの受検者は197名(55.8%)を占め、観光振興にも繋がる検定となった。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 県内外からの受検者確保のため、受検者特典の充実と情報発信の強化を進める | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

検定会場の様子



受検者特典の様子



受検者内訳(平成25年度)

| 応募者数 | 受検者数 | 合格者数 | 合格率 |
|--------------|------|------|-------|
| 410名 | 353名 | 204名 | 57.8% |
| 県内 | | | |
| 312名(市外156名) | | | |
| 県外 | | | |
| 41名 | | | |

受検チラシ



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|-------------------|---|--------|
| | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |
| 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成25年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時:平成25年7月1日(月)から平成26年3月31日(月)
 事業実施箇所:旧松本村地区、浜崎地区、旭地域及びむつみ地域
 事業主体:萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

事業内容
 ・おたから(文化遺産)の調査・記録作成事業
 NPO萩まちじゅう博物館と地域の住民が協働で、おたから(文化遺産)を調査・記録する。
 ・おたから(文化遺産)認定事業
 文化財審議会委員、萩博物館学芸員等からなる「文化遺産認定委員会」を組織し、おたから(文化遺産)の認定審査を行う。
 ・おたから(文化遺産)データベースの作成
 認定されたおたから(文化遺産)をデータベース化し、ホームページで公開するとともに報告会を開催する。
 ・おたから(文化遺産)普及啓発・育成事業
 事業実施地域ごとに交流イベントを開催するとともに「おたからマップ」を作成し、市内外へ情報発信する。

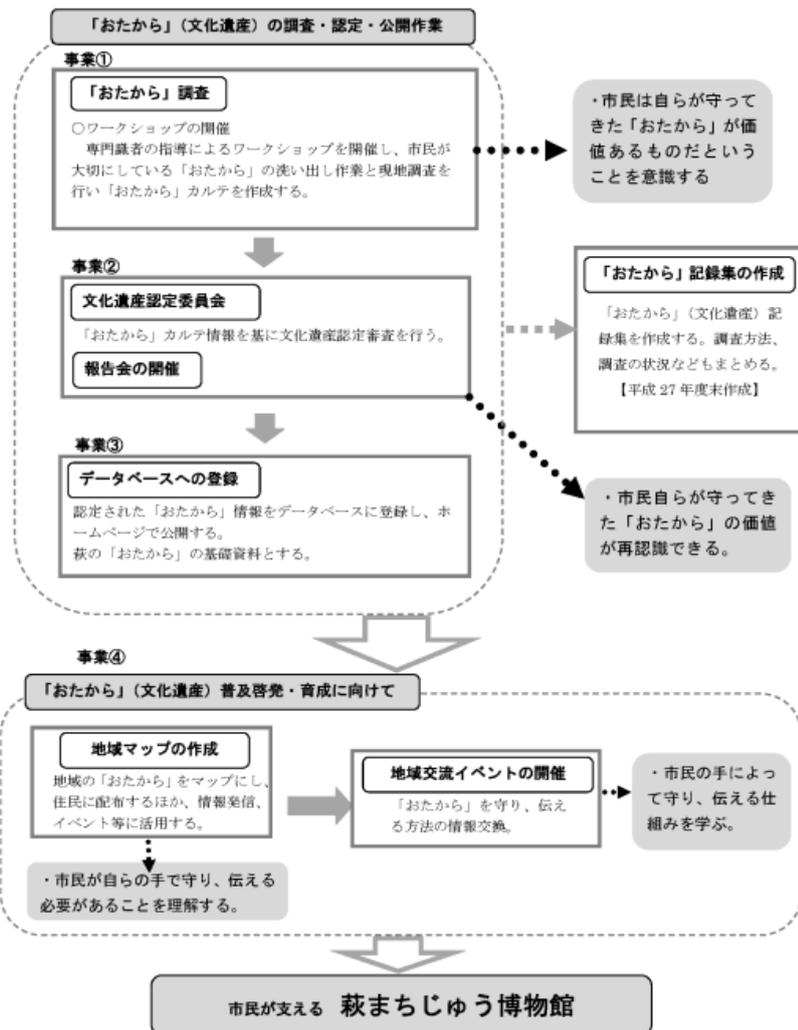
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していたくことの必要性を理解してもらう努力が必要。
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業フロー

○おたから(文化遺産)の調査・記録・交流イベントの様子



○萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 実行委員会 平成25年6月21日(金)



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|---------|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 語り部育成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成24年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 文化財施設などで観光客等に、萩市の豊かな歴史、文化、自然等につわる物語(ストーリー)を語る「語り部」により、萩市の歴史的風致を活用するとともに、歴史や文化を広く全国発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成30年の明治維新150年へ向けた関連事業として「萩・明治維新を学ぶ 萩の語り部歴史講座」を開催し、観光客等に萩物語を語り広める活動を行った。
 開催日時 平成26年3月22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)
 開催場所 旧厚狭毛利家萩屋敷長屋

・地元の警察官に萩の歴史を学習していただくため、萩警察署職員研修「吉田松陰と松下村塾」を実施した。
 開催日時 平成26年5月31日(金)
 開催場所 萩警察署

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

萩の語り部歴史講座の様子



| ○萩の語り部歴史講座 日程表 | | | |
|----------------|------|------|------------------------|
| 3月22日(土) | 14時～ | 番屋 洋 | 萩城の築城について |
| | 15時～ | 番屋 洋 | 萩城の築城について |
| 3月23日(日) | 10時～ | 清水洋介 | 人間「桂小五郎」の情と理 ～逃げの小五郎?～ |
| | 11時～ | 清水洋介 | 人間「桂小五郎」の情と理 ～逃げの小五郎?～ |
| 3月29日(土) | 14時～ | 末永光正 | 晋作にとっての攘夷 品川御殿山焼き打ち事件 |
| | 15時～ | 清水洋介 | 人間「桂小五郎」の情と理 ～逃げの小五郎?～ |
| 3月30日(日) | 10時～ | 清水洋介 | 人間「桂小五郎」の情と理 ～逃げの小五郎?～ |
| | 11時～ | 清水洋介 | 人間「桂小五郎」の情と理 ～逃げの小五郎?～ |

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
|---|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 地域コミュニティ組織づくり事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成19年度～ | | |
| 支援事業名 | 萩市単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学区区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するために、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。 | | | |
| 平成25年度交付実績 | | | |
| ・交付地域 6地域 | | | |
| ・交付金額 28,897,881円 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |

状況を示す写真や資料等

魅力ある地域づくり交付金の活用例



地域マップの作成



特産農産物のPRイベント



小学生による伝承の再現(寸劇)



地域住民による紙芝居の作成

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 作成しました。 | 評価対象年度 | 平成25年度 現在の状況 |
|--|---------|--------|---|
| ①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
 文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境を保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財の巡視のもと維持補修等を適切に実施し、かつ長期的な計画に基づき各年度ごとに保存修理事業や発掘調査を計画通り実施している。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査などを進めている。

平成25年度主要事業

- ・重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)
本堂は屋根や柱間装置等の解体を実施、経蔵は大壁の中塗、輪蔵の組立等を実施(期間:平成22年度～平成28年度)
 - ・史跡萩城城下町青木周彌旧宅保存修理工事(継続)
仲間部屋は屋根や柱間装置の解体を、土蔵は屋根や大壁塗の解体、軸部の補修、大壁の荒壁塗等を実施、主屋は素屋根を建設し、屋根瓦の解体等を実施(期間:平成24年度～平成27年度)
 - ・史跡萩城城下町菊屋家住宅土塀保存修理工事(着手)
南側の土塀は、基礎石まで解体し、荒壁の築造等を実施(期間:平成25年度～平成26年度)
 - ・史跡萩城跡本丸門跡石垣調査及び保存修理工事
本丸門跡北矢倉台からその東方に連続する土塀跡の上面遺構を発掘調査し、その後、顕著に変位した部分の石垣解体を実施(期間:平成25～平成26年度)
 - ・伝統的建造物保存修理 5件
民間が所有する町屋の主屋・土蔵の保存修理及び門・倉庫の修景、並びに市所有の土蔵の保存修理を実施
 - ・文化財の周辺環境の保全
国指定史跡萩城城下町内の側溝改良工事
 - ・埋蔵文化財の調査については、史跡地及び周知の埋蔵文化財包蔵地の調査を随時、実施し、埋蔵文化財の適切な記録及び保存を図っている。
- 萩城城下町遺跡 菊屋家住宅土塀修理に伴う基礎遺構確認調査、市内遺跡詳細分布調査 2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

| | |
|--|---------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。 |
|--|---------------------------------------|

状況を示す写真や資料等



国指定史跡の保存修理
(国指定史跡萩城城下町 青木周彌旧宅)



重要文化財の保存修理
(国指定重要文化財大照院本堂)



伝統的建造物の保存修理
(佐々並市伝建地区)



史跡の保存修理に向けた調査・設計
(国指定史跡萩反射炉)



埋蔵文化財の発掘調査
(国指定史跡萩城跡)



国指定史跡の保存修理
(史跡萩城城下町 菊屋家住宅土塀)



文化財建造物の維持修理
(萩市指定有形文化財 花江茶亭裏門)



伝統的建造物の公開活用整備
(浜崎伝建地区 旧小池家土蔵)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成25年度 |
|---|--|--|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| <p>①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災</p> | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| <p>計画に記載している内容</p> | <p>萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。</p> | | |
| <p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p> | | | |
| <p>文化財の普及・啓発については、住民参加による文化財の保存修理現場の見学会を行い、文化財情報の発信に努めるとともに、関係機関の参加による文化財の防火訓練を実施し、防火意識の高揚を図った。さらに、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産への登録に向けて官民が一体となった取組を進めるとともに、萩市の中心に位置する旧萩藩校明倫館跡地の今後の整備方針について民間の意見を交えて検討を行った。</p> <p>平成25年度主要事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財防火訓練 萩市歴史的景観形成建造物の渡辺蒿蔵旧宅にて、文化財防火デーに合わせ、住民や消防団の参加を得て、文化財防火訓練を実施した。 ・文化財の修理見学会 国指定重要文化財である大照院の修理現場の一般見学会を実施した。 ・文化財の維持管理 地域の小学生により、萩市指定史跡である吉田松陰誕生地の清掃を年間を通じて定期的に行っている。 ・文化財の普及啓発 萩の産業遺産群の平成27年度の世界文化遺産への登録に向けて、官民が一体となって普及啓発に取り組むための市民会議を開催した。 平成26年4月に隣接地に移転する明倫小学校の跡地の利活用に向けて、民間を交えた明倫小学校跡地利活用検討協議会を4回にわたり開催し、利活用に係る基本方針を定めた。 ・文化遺産(おたから)の調査、認定、公開 萩まちじゅう博物館に点在するおたから(文化遺産)を調査し、後世に継承すべきおたからとして認定するとともに、これらをデータベース化して公開する事業に市民とともに取り組んだ。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | | |
| <p>状況を示す写真や資料等</p> | | | |
|  <p>文化財防火訓練 H26.1.25 【渡辺蒿蔵旧宅(景観重要建造物)】</p> | |  <p>小学生による文化財の維持管理 【吉田松陰誕生地(市指定史跡)】</p> | |
|  <p>文化財の修理見学会 H25.6.15 【大照院(国指定重要文化財)】</p> | |  <p>萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 【旧松本村地区、浜崎地区(国選定重要伝統的建造物群保存地区)、旭地域、むつみ地域】 7月1日(月)～3月31日(月) 萩のまちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定・公開を行う事業</p> | |
|  <p>世界遺産登録推進萩市民会議 【構成資産：萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾(国指定史跡)】 12月17日(火) 萩の産業遺産群の世界文化遺産への登録に向けて官民が一体となって取り組んだ。</p> | |  <p>明倫小学校跡地利活用検討協議会 【旧萩藩校明倫館(国指定史跡)】 5月、7月、10月、1月 旧萩藩校明倫館跡地の利活用方針について、民間の意見を交えて整備に向けての検討を行った。</p> | |

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成25年度 |
|------------|--------|---|
| | | 現在の状況 |
| ①文化財施設等の活用 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。この条例に基づき、文化財の保存及び活用を図るため市と市民の基本的な行動計画である萩まちじゅう博物館基本計画・行動計画を策定した。現在、市民有志で構成するNPO萩まちじゅう博物館と協働し、この基本計画・行動計画に沿って文化財の保存及び活用を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の活用については、NPO等と協力し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めるとともに、催事等においてもその舞台として積極的な利活用を図った。また、伝統行事や萩焼などの伝統的工芸品についても、活動支援や普及啓発に繋がる事業を行った。

主な事業等

【平成25年度】

萩城跡桜ライトアップ、萩焼まつり、萩・大茶会、須佐湾遊覧船、萩往還まつり「技・明木展」、萩・夏みかんまつり、萩・オープンガーデン、浜崎伝建おたから博物館、おしくらごう、萩夏まつり、萩・万灯会、着物ウィークin萩、萩竹灯路物語、秋の萩焼まつり、萩発見伝ライトアップイベント、萩時代まつり、幕末財宝伝、萩往還佐々並おいでん祭、萩ものしり博士検定、萩城下町マラソン、萩城下の古き雑たち、萩・椿まつり、萩・幕末維新検定、萩往還ワンデーウォーク2014

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

平成25年度 文化財施設等活用イベント



萩城跡桜ライトアップ
 【萩城跡(国指定史跡)】
 3月31日(月)～4月15日(火)
 萩城跡指月公園の桜を開花に時期にライトアップするイベント



萩焼まつり
 5月1日(火)～5日(祝・土)
 伝統的工芸品である萩焼を広く普及させるためのイベント (38,400人)



萩・大茶会
 【萩城跡(国指定史跡)・旧厚狭毛利家萩屋敷長屋(国指定重要文化財)等】
 5月3日(祝・金)・4日(祝・土)
 萩の茶の湯文化を広くPRするイベント (14,100人)



須佐湾遊覧船
 【須佐湾(名勝及び天然記念物)】
 4月27日(土)～5月6日(月)
 予約者には、平日でも対応(10月31日まで) 名勝である須佐湾を広くPRするため運航



萩往還まつり「技・明木展」
 【萩往還(史跡)】
 5月3日(祝・金)・4日(祝・土)
 萩往還沿いの明木地区の町並みを活用したイベント (12,000人)



萩・夏みかんまつり
 【萩市平安古地区重要伝統的建造物群保存地区ほか】
 5月18日(土)・19日(日)
 夏みかんの花の香りとともに萩の町並みや夏みかん製品を広くPRするイベント (4,070人)



萩オープンガーデン

【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)、旧湯川家屋敷(市指定史跡)、渡辺蒿蔵旧宅ほか】
5月11日(土)～5月19日(日)
文化財施設や民間住宅のお庭巡りを楽しんでいただくイベント (10,000人)



浜崎伝建おたから博物館

【萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区】
5月19日(日)
浜崎で伝えられてきたお宝を展示し、楽しんでいただくイベント (3,500人)



おしくらごう

6月2日(日)
玉江浦地区の厳島神社の例祭に併せて行われる藩政時代から約300年受け継がれてきた和船競漕 (14,000人)



萩夏まつり

【住吉神社「お船謡」(県指定無形民俗文化財)、萩城城下町(史跡)ほか】
8月1日(木)～3日(土)
萩夏まつり最終日に、萩城城下町などで「お船謡」が披露される(107,000人)



萩・万灯会(迎え火・送り火)

【大照院墓所(史跡)、東光寺墓所(史跡)】
8月13日(火)・15日(木)
毛利家の菩提を弔うため行う行事 (6,000人)



着物ウィークin萩

【萩城城下町(史跡)ほか】
10月1日(火)～14日(祝・月)
和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント (9,600人)



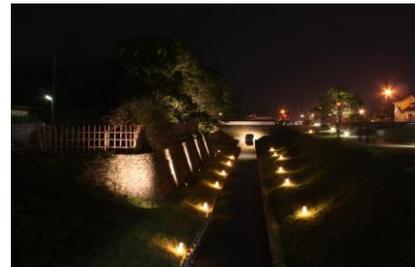
萩竹灯路物語

【萩城城下町(史跡)ほか】
10月11日(金)～13日(日)
竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (5,844人)



秋の萩焼まつり

10月11日(金)～14日(祝・月)
伝統的工芸品である萩焼を広く普及させるためのイベント (26,000人)



萩発見伝ライトアップイベント

【萩市堀内地区重要伝統的建造物群保存地区ほか】
10月12日(土)～13日(日)
堀内周辺をライトアップし、夜のまち歩きを楽しんでいただくイベント



萩時代まつり

【萩市平安古地区(重要伝統的建造物群保存地区)、萩城城下町(史跡)ほか】
11月10日(日)
2つの地区による大名行列が、市内を巡り金谷天満宮に奉納される (35,000人)



幕末財宝伝

【萩市堀内地区重要伝統的建造物群保存地区、萩城城下町(史跡)】
9月15日(日)～10月31日(木)
城下町を舞台に文化財施設等をクイズ形式で周遊するイベント



萩往還佐々並おいでん祭

【萩市佐々並市重要伝統的建造物群保存地区】
11月17日(日)
佐々並市のまちなみ散策とともに特産品をPRするイベント

※()は集客数



萩ものしり博士検定
11月24日(日)
萩の歴史・民俗・自然を楽しんで学ぶことのできる検定を開催した。(552人)



萩城下町マラソン
【萩城跡(史跡)、萩城城下町(史跡)ほか】
12月8日(日)
萩まちじゅう博物館を舞台に、全国から4,181人が参加したスポーツイベント



萩城下の古き雛たち
【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか10施設】
2月3日(月)～4月3日(木)
萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント(28,950人)



萩・椿まつり
【笠山虎ヶ崎ヤブツバキ群生林(天然記念物)】
2月15日(土)～3月30日(日)
椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント
(70,451人)



萩・幕末維新検定
2月23日(日)
明治維新150年に向けた事業展開の一環として、萩ゆかりの人物や歴史などに焦点をあてた検定を開催した。(353名)



萩往還ワンデーウォーク2014
【萩往還(史跡)】
3月22日(土)
萩往還を歩き、歴史ある風景を楽しむスポーツイベント(1,366人)

※()は集客数

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

| 報道等タイトル | 年月日 | 評価対象年度 | 平成25年度 |
|----------------------------|-----------|--------|--------|
| | | 掲載紙等 | |
| 萩の恵美須ヶ鼻造船所跡国史跡に | H25.6.22 | 朝日新聞 | |
| 恵美須ヶ鼻造船所跡国史跡に | H25.6.22 | 読売新聞 | |
| 国史跡に「恵美須ヶ鼻造船所跡」 | H25.6.22 | 毎日新聞 | |
| 萩藩の造船所、史跡に | H25.6.22 | 朝日新聞 | |
| 萩の恵美須ヶ鼻造船所跡国史跡へ | H25.6.22 | 中国新聞 | |
| 産業革命遺産を推薦 | H25.9.14 | 西日本新聞 | |
| 「産業革命」(九州・山口)推薦 | H25.9.14 | 中国新聞 | |
| 産業革命遺産「地域の宝」発信 | H25.9.15 | 読売新聞 | |
| 産業革命遺産推薦へ | H25.9.15 | 朝日新聞 | |
| 「明治の産業革命」推薦へ | H25.9.15 | 産経新聞 | |
| 「明治の産業革命」推薦へ | H25.9.15 | 中国新聞 | |
| 産業革命遺産を推薦へ | H25.9.15 | 日本経済新聞 | |
| 7市町の首長参加萩で11日まちづくりサミット | H25.11.9 | 毎日新聞 | |
| 「歴史まちづくりけん引」萩など7市町サミット宣言採択 | H25.11.12 | 日本経済新聞 | |
| 7市町が活動紹介萩で中国地方歴史まちづくりサミット | H25.11.12 | 山口新聞 | |
| 歴史まちづくり実践報告 | H25.11.12 | 中国新聞 | |
| 子の成長願い流し雛 | H25.4.4 | 朝日新聞 | |
| 萩焼まつりにぎわう | H25.5.2 | 読売新聞 | |
| 萩焼まつり大人気 | H25.5.2 | 毎日新聞 | |
| 萩焼など工芸・特産品80店萩往還まつり、きょうまで | H25.5.4 | 山口新聞 | |
| 眼前で自然満喫萩須佐湾観光遊覧船運航始まる | H25.5.3 | 毎日新聞 | |
| 城下町で優雅なひととき萩・大茶会 | H25.5.4 | 山口新聞 | |
| 江戸時代の庭園など公開 | H25.5.10 | 毎日新聞 | |
| 夏みかん求め会場盛況 | H25.5.19 | 読売新聞 | |
| 各家庭の”お宝”公開萩・浜崎 | H25.5.20 | 毎日新聞 | |
| 和船こぎ速さ競う「おしくらごう」 | H25.6.3 | 毎日新聞 | |
| きょうから萩夏まつり | H25.8.1 | 山口新聞 | |
| 「迎え火」幻想的に萩・大照院で万灯会 | H25.8.14 | 山口新聞 | |
| 萩城下町で謎解きお宝さがそう | H25.9.7 | 山口新聞 | |
| 萩城下絵になる着物 | H25.10.2 | 朝日新聞 | |
| 萩発見伝ライトアップイベント | H25.10.10 | 毎日新聞 | |
| まつりづくし萩の秋 | H25.10.10 | 朝日新聞 | |
| 萩城下町ともす竹灯 | H25.10.12 | 山口新聞 | |
| 松陰ゆかりの地、60人散策 | H25.10.17 | 山口新聞 | |
| 萩の大照院本堂屋根裏に技あり | H25.10.31 | 朝日新聞 | |
| 萩時代まつり雨の中440人参加 | H25.11.12 | 朝日新聞 | |
| 初の萩・幕末維新検定 | H25.11.20 | 朝日新聞 | |
| 第1回萩・幕末維新検定 | H25.11.20 | 毎日新聞 | |
| 萩・幕末維新検定実施へ | H25.11.22 | 中国新聞 | |
| 松陰の生き様に迫る萩で幕末維新検定 | H25.12.7 | 産経新聞 | |
| 萩ものしり博士検定修士42人、博士10人合格 | H25.11.26 | 山口新聞 | |
| 萩城下町マラソン歴史体感3536人完走 | H25.12.10 | 朝日新聞 | |
| 正月をイメージ萩で生け花展 | H25.12.18 | 山口新聞 | |
| 武家屋敷彩る花木萩渡辺旧居宅 | H25.12.26 | 朝日新聞 | |
| ユネスコ協会未来遺産登録 | H25.12.20 | 朝日新聞 | |
| 木造校舎全て保存へ | H26.1.5 | 山口新聞 | |
| 晋作がめでた？おひなさまも | H26.2.5 | 朝日新聞 | |
| 松陰の言葉、最後の朗唱 | H26.3.23 | 産経新聞 | |
| 萩往還ワンデーウォークに1170人 | H26.3.23 | 山口新聞 | |

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

萩藩が洋式軍艦建造のために建設した「恵美須ヶ鼻造船所跡」が、新たに国の史跡に指定されるとともに、この「恵美須ヶ鼻造船所跡」をはじめ萩市の5つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が、世界文化遺産候補としてユネスコに推薦されることが決定し、新聞各社により報道された。その他に、中国地方で初めて歴史的風致維持向上計画の認定を受けた萩市において、「中国歴史まちづくりサミット」を開催し、萩市と同様に計画の認定を受けて歴史まちづくりに取り組む中国地方の7市町の首長が、中国地方の歴史まちづくりを牽引するなどのサミット宣言を採択したことが報道された。また、平成30年の明治維新150年に向けて本年度から実施した「萩・幕末維新検定」や文化庁の支援を受けて実施した「萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業」の地域交流イベントも各社に取り上げられた。このほか、萩の歴史的町並みを背景に通年行われている各種イベントや市内でロケのあったテレビ番組やCMが全国に配信されることにより、萩の歴史文化や町並み、また、これらを活用した各種取組の周知が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施にあたっての課題(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。

著作権保護のため新聞記事は掲載していません。

【萩の町並みを紹介したテレビ番組一覧表(平成25年度)】

| No. | 放送(予定)日 | 報道機関等名 | 番組名 | 放送範囲 | 内容・放映場所 |
|-----|---------|-------------|-------------------|------|---|
| 1 | 5月23日 | NHK BSプレミアム | シリーズ大名家の生き残り策② | 全国 | 旧萩藩校明倫館他 |
| 2 | 7月18日 | MBS毎日放送 | ちちんぷいぷい | 関西 | 明神池、菊ヶ浜、松陰神社、萩博物館 |
| 3 | 7月20日 | BS-TBS | 魅惑の小京都 気まま旅 | 全国 | 松陰神社、須佐 |
| 4 | 9月23日 | NHK総合 | はじまりの歌 | 全国 | Nコン80回記念ドラマ。主人公は松本潤(嵐)。歴史的風致形成建造物の旧萩藩校明倫館ほか市内全域でロケ。 |
| 5 | 8月17日 | テレビ朝日 | 朝だ！生です！旅サラダ | 全国 | あまだい料理(割烹千代)、夏みかん菓子(光國本店)、萩焼体験(泉流山)、見蘭牛(ミドリヤ)、菊屋横町、旧周布家長屋門前、鍵曲 など |
| 6 | 9月27日～ | 日本テレビ | 心に刻む風景(ダイワハウスのCM) | 全国 | 藍場川、雁島橋、浜崎町、江戸屋横町、明倫小(朗唱)、堀内鍵曲、車宿、平和橋、大屋窯、浜崎魚市場、たつち |
| 7 | 11月28日 | BSプレミアム | 英雄たちの選択 | 全国 | 木戸孝允特集、木戸孝允旧宅、萩城跡、萩博物館 |

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成25年度

項目

中国地方歴史まちづくりサミット

計画に記載している内容 萩まちじゅう博物館の中核施設である萩博物館や地域博物館を管理運営するとともに文化財の再発見、その登録や管理、情報発信、活用を行い、文化財を活用した催し物、講演会、シンポジウム等を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

国土交通省中国地方整備局と萩市の主催で、歴史的風致維持向上計画の認定を受けた、高梁市、津山市、松江市、尾道市、竹原市、津和野町及び萩市の7市町の長が一堂に会した「中国地方歴史まちづくりサミット」を萩城下町にある萩博物館で開催した。サミットでは歴史まちづくりに関する基調講演や各市町の取組、首長らの意見交換を行い、中国地方の歴史まちづくりを牽引するなどの内容が盛り込まれたサミット宣言を行った。併せて、参加市町による現地研修会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

中国地方の歴史的風致維持向上計画認定都市相互が定期的に意見交換等を行う体制づくりが必要である。

状況を示す写真や資料等

■中国地方歴史まちづくりサミット開催概要
開催日：平成25年11月11日(月)
主催：国土交通省中国地方整備局、萩市
共催：津山市、高梁市、松江市、尾道市、竹原市、津和野町



会場：萩博物館 山口県萩市堀内355番地
主催：国土交通省中国地方整備局、萩市
共催：津山市、高梁市、松江市、尾道市、竹原市、津和野町
参加費：無料(どなたでも参加いただけます)

■北海道大学大学院 教授 越澤明氏による基調講演
■歴史まちづくりに取り組む7市町の長によるパネルディスカッション
(萩市長・津山市長・高梁市長・松江市長・尾道市長・竹原市長・津和野町長)

◆参加ご希望の方は、下記項目を記入の上、Eメール又はFAXにて送付して下さい。
◆転記項目
氏名(ふりがな)
住所(市町村名のみ)
申込区分(個人・会社・団体・行政関係・その他)
連絡先(携帯可)
◆申込み先
国土交通省 中国地方整備局
建設部 都市・住宅整備課 企画調査係
TEL: 082-511-6194 FAX: 082-511-6199
Eメール: kenseibu@cr.mlit.go.jp
◆申込み期限 平成25年10月31日(木)



中国地方歴史まちづくりサミット チラシ



現地研修会



7市町長によるパネルディスカッション



サミット宣言の共同発表

項目

第11回全国城跡等石垣整備調査研究会

計画に記載している内容 萩まちじゅう博物館の中核施設である萩博物館や地域博物館を管理運営するとともに文化財の再発見、その登録や管理、情報発信、活用を行い、文化財を活用した催し物、講演会、シンポジウム等を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成15年度から開催している「全国城跡等石垣整備調査研究会」は、石垣の保存・整備・活用に係る方法論を導き出すために全国各地の様々な事例報告が行われている。江戸時代の地図が今もそのまま使えるほど良好に古い町並みが残っている萩市で開催し、九州大学大学院堀賀貴教授による基調講演や城跡等の石垣整備に関する事例報告等を行い、石垣整備が、それぞれのまちづくりのどのようにより活かされているのか、今後どう活かしていくのかということを考える機会となった。さらに、まちづくりの実践手法の一つとして石垣整備が重要であること、文化財として維持していくためには伝統的技術の継承も不可欠であるということが確認された。

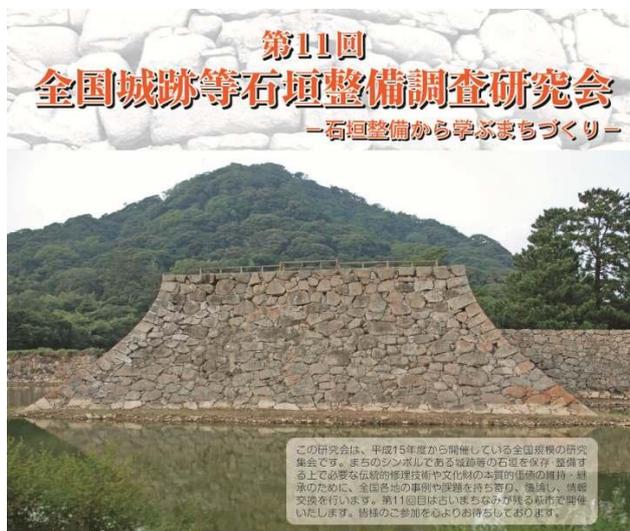
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

■第11回全国城跡等石垣整備調査研究会概要
開催日：平成26年1月23日(木)～25日(土)
主催：文化庁、萩市
共催：文化財石垣保存技術協議会
参加者数：約250名



事例報告



全国城跡等石垣整備調査研究大会チラシ



現地研修

項目

第5回「プロジェクト未来遺産」～萩のおたからみんなで親しみ、みんなに広めるプロジェクト～

計画に記載している内容 萩まちじゅう博物館を推進する市民団体のNPO萩まちじゅう博物館が市民活動の中核を担っている。NPO萩まちじゅう博物館は、萩まちじゅう博物館基本計画・行動計画に基づいた文化財の再発見やその登録、管理、活用、情報発信に取り組んでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

プロジェクト未来遺産とは、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が、100年後の子どもたちに長い歴史と伝統のもとで豊かに培われてきた地域の文化・自然遺産を伝えるための「未来遺産運動」の一環で行うもので、失われつつある文化や自然を未来に伝える市民の活動を「プロジェクト未来遺産」として登録し、それを推進する人と地域を日本全体で応援する仕組みをつくり、全国の自然・文化・無形などの多様なプロジェクトを幅広く応援するもの。「萩のおたからにみんなで親しみ、みんなに広めるプロジェクト」は、歴史的風致維持向上支援法人であるNPO萩まちじゅう博物館が実践している、おたから調査や、コアミュージアムである萩博物館の管理・運営、ワンコイントラストによる未指定文化財を守る運動などを通して、萩まちじゅう博物館を市民側から支え推進していこうというもので、今年度、この取組が評価され「プロジェクト未来遺産」として登録された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

ONPO萩まちじゅう博物館(歴史的風致維持向上支援法人)の活動例



萩市と協働でまちじゅう博物館情報コーナーを運営



昔ながらの文化に親しむイベントを開催



市内各地域でおたから(文化遺産)を拾い上げる調査を実施



調査した情報を整理し、HPなどで発表・公開

| 評価対象年度 | 23 年度～ 25 年度 |
|-----------------|--|
| 計画に記載している方針 | <p>古代から続く萩市固有の歴史や風土、毛利藩政期から現代に至るまで人々によって伝承されてきた祭礼や伝統行事、伝承芸能、萩焼などの工芸、四手網漁などの産業技術を絶やすことなく将来へ確実に継承し、もって地域の文化及び産業の振興を図る。</p> |
| 計画に記載している課題 | <p>萩市においては高齢化及び過疎化の進行が著しく、その結果、町内会においても若年層の減少から、組織の弱体化が懸念されている。萩市固有の歴史及び伝統を反映した伝承芸能や祭礼については、その母体を町内会組織に依存していることが多く、今後のこれらの存続が危ぶまれている。</p> <p>歴史的風致の構成要素となる地場産業においても、高齢化等様々な要因により萩焼や水産物等、萩を支える伝統産業の担い手が減少する状況のなか、その担い手の確保と後継者の育成が急務となっている。</p> |
| 対応する進捗評価項目とその推移 | <p>①組織体制 萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを市の中核的な施策として推進するため、まちじゅう博物館推進課と世界遺産推進課を総合政策部に移管し、体制の強化を図った。</p> <p>③歴史的風致維持向上に資する事業 萩市における歴史的風致の維持及び向上に寄与するソフト施策として以下の事業を展開している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩時代まつり ・萩夏まつり ・萩の和船大競漕「おしくらごう」 ・浜崎伝建おたから博物館 ・ワンコイントラスト(百円信託運動) ・萩ものしり博士検定 ・萩・万灯会 ・萩・大茶会 ・萩ものがたり出版事業 ・萩市伝統芸能フェスティバル ・萩焼まつり ・語り部活用事業 ・萩・幕末維新検定 ・萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 <p>④文化財の普及・啓発 市内の無形民俗文化財を将来に伝承するため、「萩市伝統芸能フェスティバル」を隔年で開催している。(H24.11.11 参加者:800名)</p> <p>⑥中国地方歴史まちづくりサミットの開催 歴史まちづくり法に関する基調講演、認定都市の市町長によるパネルディスカッション、サミット宣言(H25.11.11 参加者:100名)</p> <p>⑥全国城跡等石垣整備調査研究会 基調講演、事例報告、石垣整備に係る討論会、現地見学会 (H26.1.23～25参加者:150名)</p> |

| | |
|--|--|
| <p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p> | <p>毎年奉納されるお船謡(県指定民俗文化財)や奉納行列など萩市中心部の伝統行事に対する支援を行うとともに、各地域で継承されてきた無形民俗文化財保存のための支援を行うことにより、伝統行事や伝統芸能の継承が図られている。・無形民俗文化財に対する助成 H23 3件 48,000円、H24 3件 48,000円、H25 3件 48,000円 ・伝統芸能団体に対する助成数 13団体 500,000円(H24)</p> <p>萩・幕末維新検定の開催により、幕末から明治維新にかけての固有の萩物語を広く情報発信することができた。 ・「萩・幕末維新検定」 期日:H26.23 申込者数 410名(市内 178名 市外 232名)</p> <p>萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業の実施により、市内全域のおたから(文化遺産)のデータベース化と、これを後世に継承すべき萩の財産として認定する仕組みが構築された。 ・「萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業」 H25実施箇所 旧松本村地区、浜崎地区、旭地域、むつみ地域</p> <p>国の伝統的工芸品に指定されている「萩焼」の振興を担う中心的団体である、萩陶芸家協会の加盟作家110人(H25.3現在)による「萩陶芸大リーグ」や「萩の陶芸家たち展」などを開催することで、萩焼産業の振興と後継者の育成に繋がっている。 ・「萩陶芸大リーグ」 期日:H24.8.18～8.24 窯元弟子入り体験参加者 47名 ・萩陶芸家協会設立20周年記念「萩の陶芸家たち展」 期日:H25.4.6～H25.5.19 会場:山口県立萩美術館・浦上記念館 入込客数:3,789人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">萩陶芸大リーグでの弟子入り体験 萩市伝統芸能フェスティバル</p> |
| <p>達成状況の評価、要改善事項</p> | <p>■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p> |
| <p>計画見直しの必要性</p> | <p>□計画の見直しが不要 ■計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p> <p>藩政期から明治維新にかけての萩物語を全国に発信するための、具体的な取組として「萩・幕末維新検定」を開催するとともに、萩のまちに全体に広がる文化遺産(おたから)を掘り起こし、後世に継承するための取組として「萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業」を新たに実施したため、計画の変更が必要になった。</p> |

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

| 評価対象年度 | 23 年度～ 25 年度 |
|-----------------|---|
| 計画に記載している方針 | <p>「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」といわれるほど面として残っているかけがえのない文化財や歴史的な町並み及びそれらと豊かな自然とが一体となった希有な風景や景観などを積極的に保存し、これらを活かした市街地の整備及び生活環境の改善を図り、もって都市の健全な発展を目指す。</p> |
| 計画に記載している課題 | <p>萩には古代から藩政期、明治維新を経て現代に及ぶ長い歴史があり、それを物語るように多くの文化財や歴史的なまちなみが多く残されている。この長い歴史の中で生まれた様々な物語や出来事が次第に語り継がれなくなりつつあることから、萩まちじゅう博物館構想を踏まえ、市民一人一人が萩の歴史をしっかりと語り継ぐとともにその舞台となる歴史的まちなみ等、景観の保存、継承及び良好な景観の形成を図る必要がある。</p> |
| 対応する進捗評価項目とその推移 | <p>②景観計画区域の変更 一般景観計画区域に小畑地区と椎原地区を追加し、建築物の高さ制限と屋外広告物の規制を実施した。</p> <p>③渡辺蒿蔵旧宅整備事業 経年により破損していた屋根や柱・梁・土台などの構造体の補修、内外壁の補修、荒廃していた庭園の整備、中門の復原等を実施した。</p> <p>③観音院観音堂修理事業 破損していた屋根・軒廻り、庇部分を解体し、部材を取り替えて組み立て直した。</p> <p>③森井家住宅整備事業 破損の著しい屋根、軸部を一旦解体し、在来工法により修理を行うことにより、御成道沿道の歴史的景観が維持・向上した。</p> <p>③歴史的まちなみ看板整備事業 市民及び観光客の回遊性の向上を図るため、歴史的風致形成建造物や文化財施設への案内看板、誘導看板等を整備した。(計6基設置)</p> <p>④文化財の保存に関する事項 文化財の保存については、文化財保護指導員と協力し、各地域の文化財の巡視のもと、維持補修等を適切に実施するとともに、長期的な計画に基づき各年度ごとに保存修理事業や発掘調査事業を実施している。</p> <p>(平成23年度) 史跡萩城城下町及び萩往還の追加指定、史跡萩城城下町旧石川家住宅保存修理、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋、堀内伝建地区防災工事、伝統的建造物保存修理 4件、伝統的建造物群保存地区内の修景 1件</p> <p>(平成24年度) 重要文化財大照院本堂保存修理工事着手、史跡萩城城下町青木周弼旧宅保存修理工事着手、重要文化財菊屋家住宅外壁修理工事、大板山たたら製鉄遺跡 国史跡に指定、吉田松陰関係資料(吉田家伝来) 山口県指定有形文化財(歴史史料)に指定、佐々並市伝統的建造物群保存地区説明看板設置、伝統的建造物保存修理 6件</p> <p>(平成25年度) 重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)、史跡萩城城下町青木周弼旧宅保存修理工事(継続)、史跡萩城城下町菊屋家住宅土塼保存修理工事(着手)、史跡萩城跡本丸門跡石垣調査及び保存修理工事、伝統的建造物保存修理 5件、文化財防火訓練(歴史的景観形成建造物渡辺蒿蔵旧宅)、文化財防火訓練、新規の文化財指定 国指定史跡恵美須ヶ鼻造船所跡</p> <p>○H26.3.31現在の指定文化財の総数・・・ (国指定 49件、県指定32件、市指定126件 総計207件)</p> <p>○重要伝統的建造物群保存地区(H22 3地区 ⇒ H25 4地区)</p> |

| | |
|--|--|
| <p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p> | <p>萩市の稀有な風景や景観を継続的に維持向上していくため、平成19年に策定した萩市景観計画を平成24年4月に改定し、一般景観計画区域の範囲を追加するとともに、萩市屋外広告物等に関する条例の適切な適用により、歴史的な町並みと調和した景観形成が進んでいる。ファーストフードや衣料品店等、全国展開している店舗が萩市へ進出する際も、萩市の景観に関する各条例に則した看板を掲げるなど景観形成に関しての企業の協力も得られている。このような一貫した景観形成への取組により、景観に対する市民意識も高揚し、市の中心部で景観を阻害していた老朽ビルの撤去など、景観向上のための具体的な事業に繋がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物等の届け出(継続申請を含む)件数1,001件(H23.4~H25.12) ※基準に合致しない簡易な看板等については、平成23年度以前は、撤去する事案があったが、平成23年度からは看板等の撤去実績がなく、良好な景観を維持するための市民の意識が高まっている。 <p>平成23年6月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された、佐々並市地区では、地区の有志により結成された「萩往還佐々並どうしてやろう会」を中心に地区内を案内するガイドの養成や、伝建地区の中心部を貫いている萩往還を活用したイベントへの協力など、地区の活性化が図られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩市佐々並市伝統的建造物群保存地区…平成23年6月20日選定 選定面積 20.3ha ・萩市佐々並市伝統的建造物群保存地区ガイド実績…1,186人(H23) 1,259人(H24) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="541 853 916 1133"> </div> <div data-bbox="951 853 1370 1133"> </div> </div> <p style="text-align: center;">萩往還どうしてやろう会役員会 町歩きガイドの様子(全国街道交流会議)</p> |
| <p>達成状況の評価、要改善事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない <p>(要改善事項)</p> |
| <p>計画見直しの必要性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 <p>(見直しの理由・方針)</p> |

| 評価対象年度 | 23 年度～ 25 年度 |
|-----------------|---|
| 計画に記載している方針 | 行政と市民の協働体制のもとに、文化財施設の管理や文化遺産の調査・保存、伝統行事や伝承技術の保護など歴史的風致を維持及び向上させる活動を積極的に進め、もって「萩に住んでよかった」、「萩を終の住処にしてよかった」と日々実感できるような個性豊かなまちづくりを推進する。 |
| 計画に記載している課題 | 萩市における歴史的風致を保存、活用して、市民が誇りをもって快適に住めるまちにしていくこと、また、これを後世に継承することが、萩市のまちづくりの最重要課題である。 |
| 対応する進捗評価項目とその推移 | <p>③渡辺蕎蔵旧宅整備事業 まちじゅう博物館のサテライト施設として公開し、NPO萩観光ガイド協会が施設管理とガイドを年中無休で実施している。</p> <p>③観音院観音堂修理事業 風情ある漁村景観が維持・向上するとともに、地域住民の信仰のシンボルとなっている。</p> <p>③森井家住宅整備事業 破損の著しい屋根、軸部を一旦解体し、在来工法により修理を行うことにより、御成道沿道の歴史的景観が維持・向上するとともに、一般財団法人により公開が行われている。</p> <p>③萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 歴史的風致維持向上支援法人であるNPO萩まちじゅう博物館が事務局となり、萩のまちに面的に広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組んだ。(事業地区 旧松本村、浜崎、旭、むつみの計4地域)</p> <p>④文化財の普及・啓発 ・世界遺産登録推進萩市民会議(8月、12月、1月) ・明倫小学校跡地利活用検討委員会(5月、7月、10月、1月)</p> <p>⑥第5回「プロジェクト未来遺産」 ～萩のおたからみんなで親しみ、みんなに広めるプロジェクト～ 歴史的風致維持向上支援法人であるNPO萩まちじゅう博物館により、進められている、市内のおたからを拾い上げる調査や、コアミュージアムである萩博物館の管理・運営、ワンコイントラストによる未指定文化財を守る運動などが評価され、「プロジェクト未来遺産」として登録された。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>明倫小学校跡地利活用検討協議会において、民間の意見を交えながら旧萩藩校明倫館跡地の今後の利活用について協議</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界文化遺産への登録を官民協働で推進</p> </div> </div> |

| | |
|--|--|
| <p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p> | <p>○地域の歴史的風致の中心をなす歴史的建造物については、本計画に基づく事業及び文化財の保存修理事業の実施により、計画的に修景・修復が進むとともに、完成後は、これらを民間に委託し、市民や観光客の交流の場として公開している。</p> <p>○「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の平成27年の世界文化遺産への登録に向けて、内閣官房や文化庁等の関係機関や世界遺産登録推進萩市民会議と協力して啓発活動等を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産啓発用パンフレット作成 5,000部 ・構成資産先進地視察 長崎県、佐賀県、鹿児島県(H23、H25) <p>○官民で組織された明倫小学校跡地利活用検討委員会の4回にわたる検討・協議により、旧萩藩校明倫館跡地を今後、萩市の歴史、教育、観光等の拠点として整備するといった方針が示された。</p> <p>○歴史的風致維持向上支援法人であるNPO萩まちじゅう博物館の活動により、市内のおたから(文化遺産)の調査、登録、公開が進むとともに、ワンコイントラスト運動の展開により、平成25年度までに8つの未指定文化財等の修復が実現している。また、支援法人が進めている「萩のおたからみんなで親しみ、みんなに広めるプロジェクト」が第5回「プロジェクト未来遺産」に登録されるなど、歴史的風致を維持向上させる先進的な取組を行う団体として全国的に注目を集めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に位置づけて整備し、公開している歴史的風致形成建造物 渡辺蒿蔵旧宅(H24.4～ NPO萩観光ガイド協会に管理・活用委託) 観音院観音堂(H24.4～ 宗教法人観音院が管理) 森井家住宅(H25.4～ 一般財団法人森井家住宅保存財団が管理・活用) ・歴史的風致形成建造物の活用例 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>生け花教室の開催(渡辺蒿蔵旧宅) 市民交流イベントの開催(森井家住宅)</p> |
| <p>達成状況の評価、要改善事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない <p>(要改善事項)</p> |
| <p>計画見直しの必要性</p> | <ul style="list-style-type: none"> □計画の見直しが不要 ■計画の見直しが必要 <p>(見直しの理由・方針)</p> <p>明倫小学校跡地利活用検討委員会により、旧萩藩校明倫館跡地の今後の整備・活用方針が示されたため、事業内容の追加等、計画の変更が必要となる。また、計画に記載した方針への新たな取り組みとして、歴史的風致維持向上支援法人が行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業を追加して計画に位置づける。</p> |

評価対象年度 23 年度～ 25 年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み: 渡辺蕎蔵旧宅整備事業

(取り組み概要)

景観重要建造物に指定されていた旧宅全体が著しく破損し周辺の景観と不調和であるため、雨漏りや経年により破損していた屋根・柱・梁・土台などの構造体の補修を行うとともに、屋根の葺替えや内外の壁の塗り直しなどを行った。また、荒廃していた日本庭園についても中門の復原や飛石の据え直し、樹木の剪定と植樹を行い、露地風庭園として整備した。あわせて、トイレや駐輪場など公開・活用に必要な施設の整備を行った。

平成24年度からは、萩市のまちづくりの基軸である『萩まちじゅう博物館』のサテライト施設として年中無休で公開を始め、市民や観光客の交流施設として活用している。



[施工前(外観)]



[施工後(外観)]



[施工前(内観)]



[施工後(内観)]

(自己評価)

当旧宅は明治中期に建築された大規模な近代和風住宅として非常に貴重であるとの認識があったが、これまで文化財指定には至らず、長年の空き家化により放置され、荒廃が進んでいた。この度、萩市歴史的風致形成建造物として、当事業により整備したことにより、江向地区の歴史的風致の維持向上に寄与したばかりでなく、歴史的建造物の保存と再生に繋がり、萩市全体の文化遺産の継承に新しい道を拓いた。

また、萩市が掲げる萩まちじゅう博物館構想において、サテライト施設が存在しなかった江向地区に市民団体の活動拠点として必要な整備を行うことにより、整備後の社会資本整備総合交付金事業とあわせて、同構想の推進に大きく寄与したと考える。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):三村夏彦(堀設計事務所代表取締役、萩市景観審議会会長)

・外部評価実施日:平成25年12月12日

・有識者コメント

萩市旧市街地の三角州地内は、藩政期の町割がほぼそのまま残存し、都市遺産となって今日まで継承されている。特に北部は、堀内地区や浜崎地区等が国の重要伝統的建造物群保存地区として保存整備され、大身の侍屋敷の長屋門・土塀や商人町の町屋・土蔵等が多く残っている。南部の江向他地域には、中下級武士の屋敷が密集していたところであるが、近年その屋敷構えを残すところが、非常に少なくなってきた。萩市においては、町家については相当数が保存されているが、当建物のような屋敷については、保存されているものが少なく、かつ大規模な屋敷としても非常に貴重である。また、効果促進事業を用いて、当建物を管理するNPOを中心に、町家とは異なる広々とした空間を利用して様々な利活用が試みられていることは、萩市の歴史的建造物の利活用の幅を広げるうえで成果を上げていると考える。萩市内に残るこのような屋敷が、各地域であと数件整備されれば、萩城下町としてバランスが良くなると考える。



[現地審査 渡辺蒿蔵旧宅外観]



[現地審査 渡辺蒿蔵旧宅内観]

(今後の対応方針)

茶室や二階の利用も含め、このような屋敷型の建物の空間や意匠をいかした、多様な利用が進むようさらなる試みを検討し、萩まちじゅう博物館構想の推進に繋がるよう努めたい。

評価対象年度 23 年度～ 25 年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み: 観音院観音堂修理事業

(取り組み概要)

観音院は古くより“玉江観音”と呼ばれ、漁業の盛んな玉江浦では海の護り観音として崇められていた。観音堂は2度の類焼後、江戸時代嘉永年間(1848～53)に再建されたものと伝えられ、八江萩名所図画にも描かれ、江戸時代には萩八景の一つとされており、特徴ある二重屋根は、周囲の土塀や灯籠、背後の丘陵の緑や前面の玉江浦の海とよく調和し、良好な歴史的景観を形成しているが、観音堂は経年劣化による破損が著しいことから、破損していた屋根・軒廻り、庇部分を一旦解体し、傷んでいた部材の取替や補修を行い、在来どおり組み立てた。また、自動火災報知機や避雷針設備を設置した。



[施工前]



[施工後]

(自己評価)

観音院は、地元玉江地区の住民をはじめ、市民にとってかけがえのない歴史的景観のひとつとして大切にされてきた。観音堂は、経年の劣化や雨漏りによる傷みが進行し、屋根の倒壊も危惧されていたが、当該事業の実施により、見事に往時の姿を取り戻すことができた。萩市を代表する歴史的景観の回復は、玉江地区の歴史的風致の維持向上に寄与したばかりでなく、地区住民の観音院への信仰や歴史的建造物を次世代へと継承していこうとする気持ちに大きく寄与したものと思料する。萩にしかない歴史的景観を次世代に継承しようとする思いは、萩まちじゅう博物館構想の根幹を成すもので、当該修理事業は同構想の推進の一助となることを証明する事例と考える。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):三村夏彦(堀設計事務所代表取締役、萩市景観審議会会長)

・外部評価実施日:平成25年12月12日

・有識者コメント

当施設は藩政期から萩八景の一つとされている歴史的景観である。萩市民にとってシンボリックで、非常に重要な景観資源であり、対岸の平安古地区を含め、多くの視点場をつくりだしている。また、視対象としてだけでなく、観音院の高台から望む景観は、眼下の玉江浦の屋並みから、橋本川越しに眺望する堀内伝建地区・萩城跡・日本海に広がり、この地点からしか望めない重要な視点場でもある。当事業により立派に修復されたことは、萩市全体にとって大きな意味を持つと考える。また、地元の玉江浦の海の護り神として機能が維持され、地域の財産として遺されるばかりでなく、事業費の1/3の負担分については、檀家だけでなく、地元住民の浄財が集められたとのことであり、まさに地域の歴史的な財産として維持されていくことは評価に値する。

今後は鐘楼など、今回の改修の対象とされなかった部分も検討され、今以上に萩の名所となることを期待する。



[現地審査 観音院観音堂]



[書面審査]

(今後の対応方針)

落慶法要なども行われ、地域の歴史的遺産としては定着しつつあるので、これらの動きを支援するとともに、萩八十八箇所巡りなどに関連させ、萩市民や観光客にもPRし、萩まちじゅう博物館構想の推進に繋がるよう努めたい。

| | |
|---|--------|
| 評価対象年度 | 平成25年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | |
| コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会 | |
| 会議等の開催日時: 平成26年3月14日 | |
| (コメントの概要) | |
| <p>協議会議事</p> <p>(1) 歴史的風致維持向上計画の変更について ⇒事務局から変更箇所の説明</p> <p>(2) 萩市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について ⇒各担当者より評価シートについて説明</p> <p>(3) その他</p> <p>コメント等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンコイントラスト(百円信託)運動について、さらに幅広く信託を受けられることができるよう、現行の設置場所の見直しと追加が必要。 ・合併して新たに萩市になった地域においても、現計画で保護していくことが必要な地域がある。そこで、歴史的風致維持向上計画の重点区域の追加を検討されてはどうか。 | |
| (今後の対応方針) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ワンコイントラスト(百円信託)運動については、多くの信託が受けられるよう、設置場所の変更や追加などの随時見直しを行っていく。 ・歴史的風致維持向上計画の重点区域については、当面、現在の重点区域とし、新萩市域で歴史まちづくり法による支援が特に必要となる地域について調査を進める。 | |